

自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成24年3月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成24年3月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

◎調査店1店当たりの販売台数

平成24年3月の1店当たりの新車販売は前月比219.1%の29.8台となった。これを前年同月比でみると9.2台減の76.4%となるが、その減少は、昨年同月の新車販売台数が東日本大震災の影響で、ホーム車が前年同月比161.0%になるなど、各車種で例年に比べ大幅に増加したことの影響を受けたためである。車種別前年同月比でも、シティ車81.5%、ホーム車72.8%、スポーツ車84.6%、電動アシスト車75.0%など、本年3月は全車種で前年同月を下回った。

◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、遅い春の影響が大きいようで、「寒い。路面に雪あり走行に至らず、開店休業が続く」(北海道)、「天候、気候が後押ししてくれない、厳しい春である」(新潟)、「3月は例年より寒い日が多く、自転車販売台数は悪い」(福岡)など、春需の出足を鈍くしている天候に関するものが最も多かった。

また、「今年は中学、高校、大学と通学車としてスポーツ車、軽快スポーツ車を求めるユーザーが多いように思えた」(東京)、「進学時期だけに高額な自転車が売れている」(山梨)、「中学生が今年からバス通学になり高い自転車が出ない」(岐阜)、「通学用の自転車の動きが悪く思ったより台数が伸びなかった」(愛知)、「通学用の自転車が売れない。学生は自転車より携帯電話をほしがるといふ」(熊本)など、この時期ならではの通学車に関するものも多かった。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗：100]

(平成24年3月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本月		前月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	11.0	35.1	5.5	37.7	200.0	13.5	32.2	81.5
ホーム車	12.3	39.3	4.7	32.2	261.7	16.9	40.3	72.8
折りたたみ車	0.5	1.6	0.3	2.1	166.7	1.1	2.6	45.5
子供車	1.2	3.8	0.5	3.4	240.0	1.3	3.1	92.3
幼児車	0.5	1.6	0.2	1.4	250.0	0.6	1.4	83.3
マウンテンバイク	0.6	1.9	0.3	2.1	200.0	0.9	2.1	66.7
スポーツ車	2.2	7.0	1.2	8.2	183.3	2.6	6.2	84.6
電動アシスト車	1.5	4.8	1.1	7.5	136.4	2.0	4.8	75.0
合計	29.8	95.2	13.6	93.2	219.1	39.0	93.1	76.4
中古車	1.5	4.8	1.0	6.8	150.0	2.9	6.9	51.7
総合計	31.3	100.0	14.6	100.0	214.4	41.9	100.0	74.7
モーターバイク	0.5	1.6	0.5	3.4	100.0	0.7	1.7	71.4

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。